

人口と世帯

人口	413,176人
男	204,379人
女	208,797人
(前月より)	554人増
世帯	173,085世帯
(前月より)	284世帯増
(19年1月1日現在)	

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課広報係  
〒194-8520 東京都町田市中原1-20-23  
市役所の代表電話042・722・3111  
町田市コールセンター042・724・5656  
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)  
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>  
携帯版 <http://www.city.machida.tokyo.jp/mobile/>



携帯電話用QRコード

## 二十祭まちだ メインステージが 開催されました



左から福田友美さん、笠井信輔さん、水落裕樹さん(実行委員長)、永吉利奈さん

た新成人から夢メッセージを集め、笠井アナウンサーが読み上げて、夢の実現にエールが送られました。

今年で6年目を迎えた「二十祭まちだ」は幅広い参加型のスタイルで、これまでダンスコンテスト、こだわり市場が開催され、残すはプラネタリウムイベントとなりました。ぜひおいで下さい。

【プラネタリウムイベント「二十祭まちだプレゼンツ」二つ空の下】  
日時 2月12日(休) 第1部 午後2時から、第2部 午後5時から  
第2部のみ晴天時は屋外で星座観測有り。  
会場 東急まちだスターホール  
第1部・第2部とも午後1時から会場前で整理券(無料)を配布します。

【実行委員大募集】  
「二十祭まちだ」では、様々なイベントを企画・運営しています。新成人が主役の思い出に残る成人式と一緒にプロデュースしませんか。

資格 「二十祭まちだ」に関心のある20歳前後の方  
問 社会教育課 ☎724・2756

## 日本学生トライアスロン 全国大会で優勝 村山昇さん

昨年10月15日に群馬県で開催されたトライアスロンの日本学生選手権大会で、市内にお住まいの村山昇さんが優勝しその報告に市役所を訪れました。

この競技はスイム750m、バイク(自転車)20km、ラン5kmで争われるもので、村山さんは昨年3位の雪辱を果たし、見事優勝しました。中学・高校時代は長距離の陸上選手だった村山さんは、現



在東海大学4年生。トライアスロンは大学に入ってから始めました。2月にはランとバイクの日本学生デュアスロン選手権にも参加する予定です。

## 桜美林大学の学生などで 人身売買の撲滅に向けた 活動をしています

桜美林大学の学生を中心に会員20人で構成される、人身売買の撲滅に取り組むNGO法人「てのひら」が人身売買に立ち向かう会



「てのひら」の皆さんと石阪市長

は、都内や神奈川県で学習会やイベントを開催するなどの活動を続けています。この度その活動が評価され、生活クラブ生協が主催する「キララ賞」を受賞し、1月17日に報告のため市役所を訪れました。「キララ賞」は平和、環境、文化、福祉、国際交流などの分野で活動する若者たちを支援するものです。

## ご利用下さい 学校の「特別教室」を 開放しています

市民の学習・団体活動等、地域活動の場として、開放区画のある次の学校の特別教室が利用できます。

利用できる学校 木曾境川小学校(多目的室等)、本町田小学校(音楽室等)、鶴川中学校(小ホール室等)  
利用できる日時 平日 午後6時30分～9時 土・日曜日、祝日 午前9時～午後9時  
水曜日及び年末年始は除く。  
団体登録 利用にあたっては、団体登録が必要です。利用できる団体は、市内に活動拠点があり、代表者が市内在住の20歳以上の方です。



木曾境川小学校(多目的室)

小山ヶ丘小学校(音楽室)

本町田小学校(多目的室)

鶴川中学校(小ホール室)

## ごみゼロ 市民会議

昨年10月にスタートしたごみゼロ市民会議は、124人の応募市民と町内会・自治会連合会選出の地域代表市民10人、会議進行の助言や指導を行うアドバイザー委員5人で構成されています。ごみになるものを作らない・燃やさない・埋め立てないことを基本に、およびよそ4か月議論を重ね、本年1月20日、第5回ごみゼロ市民会議で、ごみの減量・再資源化の方策を検討するテーマ別の部会・分科会が発足しました。

当日は、会場の町田市教育センターに市民委員97人、アドバイザー委員4人が参加。  
「もし、41万人市民が毎日何か1個のごみを減らせることができたら、それだけで、ものすごい量の」  
「ごみが燃やされずにすむ!」「ごみの中から資源になるものをきちんと分別しよう!」そんな熱い思いが伝わってくる活発な議論が各部会・分科会に分かれて行われました。  
発足した部会は生ごみ、廃プラスチック、その他の資源拡大の3つの部会です。  
各部会の中に、さらに分科会が設けられました。  
生ごみ部会の分科会は、家庭での生ごみ処理と市民農園での活用 地域一括による戸建て家庭での生ごみ処理・回収回数減実 地域一括による集合住宅での生ごみ処理・回収回数減実 パイオガス研究 家庭と農家との資源循環システム実験の5つの分科会です。  
ごみゼロ市役所推進支援チームは、市役所の事務所や各施設から発生するごみの減量と資源化を市民の視点で支援するチームです。問 社会教育課 ☎797・0530

## テーマ別の 部会・分科会が発足

廃プラスチック部会の分科会には、排出抑制の実験研究 処理方法(中間処理・資源化)の検討 発生抑制の制度の検討研究の3つの分科会です。  
その他の資源拡大部会の分科会には、リサイクル広場とポイント制度の検討 ごみゼロ条例検討 分別促進の3つの分科会です。  
また、部会とは別に2つのプロジェクト、広報・環境教育チームとごみゼロ市役所推進支援チームが発足しました。  
広報・環境教育チームは、市民委員による情報発信や環境教育の方法を検討・実践するチームです。